仮面ライダーディケイド

雪音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーディケイド

【Nコード】

N5840M

【作者名】

雪音

【あらすじ】

大ショッカーを倒した門矢士は旅を続けていた。またもや士は世界を救うはめになった。その時鳴滝は強力な資格を使ってディケイドを倒そうとしている。

所々キャラが違う所があるかも知れません。

今までのディケイドは…？

門矢士は仮面ライダーディケイドとなり、数多の世界を救って来た。クウガの世界、アギトの世界、アマゾンの世界など。ましてや仮面ライダーの枠を越えシンケンジャーの世界も救っていた。敵である大ショッカーを倒し、旅を続けていた。だがしかし、ディケイドの死を望む鳴滝の行方は知らず、いつまた強力な刺客をおくってくるかわからない。

だが、士は刺客を倒しながらもいつまでも旅を続けていくだろう。

旅こそが士の世界だからだ。

Angel Beats!の世界 序章

「ガードスキル、ハンドソニック。」

突如、少女の両腕にふたつの剣が現れた。少女はハンドソニックと呼ばれる剣で未知なる敵と戦っていた。

少女は一人で戦っているのではない、背中を預けられる頼もしい仲間たちがいるからだ。

少女はもの凄い速さで敵に襲いかかる。瞬く間に敵が全滅していった。

「奏！大丈夫かっ!?!」

「うん、大丈夫。結弦たちがいたから。」

奏と呼ばれる少女は表情は変えなかったが、彼女なりの感謝しているのだろ。

「とりあえず、今日はもう来そうにないから戻ろう。」

「うん。」

彼女は何かを見つめるように何も無い場所を見つめていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5840m/>

仮面ライダーディケイド

2010年10月10日14時10分発行